

## 「ハジハジ」 Kの人柄 (と私のハジハジ)

Kはかなり癖のある性格だ。」のKの性格、人柄を把握しておかないと「ハジハジ」の謎は解明できない。以下の記述からKの性格・人柄とそれを熟知している私の反応をまとめていこう。

K

136 上1 「Kは「つむに似合わない話を始めました。」 ○メセレハヤセどんな話をしているんだろう  
ハセ

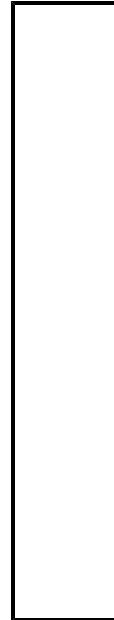
136 上10 「Kはなかなか奥さんとお嬢さんの話をやめませんでした。しまいには私も答えられないような立ち入ったことまできくのです。」 ○  
話がやめられない時、話を根掘り葉掘り聞く時  
ハジハジ

136 上12 「私はめんどうよりも不思議の感に打たれました。以前私のほうから二人を問題にして話しかけたときの彼を思い出すと、私はどうしても彼の調子の変わっているところに気がつかずにはいられないのです。」 ○以前の彼はどんな調子だったのか?

136 下5 「平生から何か言おうとするとき、言う前によく口のあたりをもぐもぐさせる癖がありました。彼の唇がわざと彼の意志に反抗するようにたやすく開かないところに、彼の言葉の重みもこもつてていたのでしょうか。いつたん声が口を破つて出るとなると、その声には普通の人よりも倍の強い力がありました。……彼の重々しい口から、彼のお嬢さんに対する切ない恋を打ち

136 下11 「彼のお嬢さんに対する切ない恋を打ち明けられたときの私を想像してみてください。私は彼の魔法棒のために一度に化石されたようなものです。口をもぐもぐさせるはたひわやべ、私にはなくなってしまったのです。  
そのときの私は恐ろしさの塊と言いましょうか、または苦しさの塊と言いましょうか、なにしろ一つの塊でした。石か鉄のように頭から足の先までが急に固くなつたのです。呼吸をする

明けられたとき」〇×のお嬢や多くの恋せぬのはうなものであるとなるか。



弾力性さえ失われたくらいに固くなつたのです。」〇私がこれまでの反応をしたのはなぜか?は人間のどうじか心の動きを指すか?

137 上3 「私は一瞬間に後ろに、また人間らしい気分を取り戻しました。」〇「人間らしい気分」とは人間のどうじか心の動きを指すか?

137 上4 「そうして、すぐしまつたと思いました。先を越されたなと思いました。」〇「先を越された」とはなぜか?

137 下2 「彼の自白は最初から最後まで同じ調子で貫いていました。重くてのろいかわりに、とても容易な」とでは動かせない」〇×の口調は

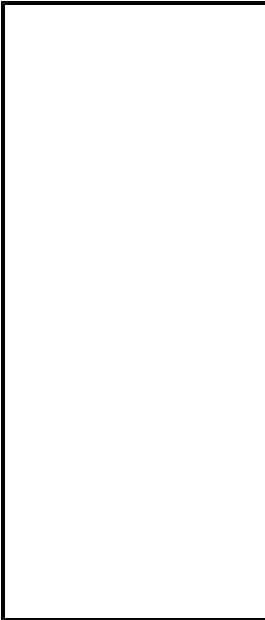
137 下2 「彼の自白は最初から最後まで同じ調子で貫いていました。重くてのろいかわりに、とても容易な」とでは動かせない」〇×の口調は  
自白の内容がどんづらのだとばかりして  
いるか?

137 下5 「私の心は半分その自白を聞いていながら、半分どうしようどうしようという念にたえずかき乱されていましたから、細かい点になるとほとんど耳へ入らないと同様でしたが、それでも彼の口に出す言葉の調子だけは強く胸に響きました。そのために私は前言った苦痛ばかりではなく、時には一種の恐ろしさを感じるようになりました。つまり相手は自分より強いのだという恐怖の念がきざし始めたのです。」〇何が「強い」のか。そしてどうして「恐怖」を抱くのか?

〇私の心情が日常生活に反映されてくる表現を②節より抜き出しなさい。

〇×が自白した「と」よりも、「私は×との相対関係はどう變化したか。(立場がどう変化したか?)

〇×の性格・人柄を簡単におさらい。



13/01/02